

[第 73 回全国植樹祭開催に向けた取組状況について]

大会テーマの決定について

1 選定概要

一般公募による応募作品 1,275 点から、有識者による「大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会大会テーマ小委員会」の協議により大会テーマを選定。

2 公募概要

- (1) 募集期間 令和元年 12 月 25 日～令和 2 年 2 月 21 日
 (2) 応募資格 県内外、国籍年齢を問わず応募可能
 (3) 募集内容 植樹祭開催理念、岩手らしさを県内外に発信するにふさわしい作品

3 審査会

- (1) 開催日時 令和 2 年 3 月 3 日（火）13 時 30 分～15 時 30 分
 (2) 審査委員

| 区分 | 所属・職名 | 氏名 |
|------|-------------------------------|--------|
| 委員長 | 岩手県立大学名誉教授 | 佐々木 民夫 |
| 副委員長 | 岩手大学教育学部美術教育科教授 | 溝口 昭彦 |
| 委員 | 公益社団法人岩手県緑化推進委員会常務理事 | 赤澤 由明 |
| | Creative Question 代表 | 岩渕 公一 |
| | 川口印刷工業株式会社事業開発課 ラ・クラ副編集長 | 佐々木 真樹 |
| | 岩手県教育委員会事務局学校教育課首席指導主事兼義務教育課長 | 小野寺 哲男 |
| | 岩手県農林水産部林務担当技監 | 橋本 卓博 |

(3) 審査結果（入賞作品及び選定理由）

| 賞 | 作品・応募者・選定理由 |
|-----------------|--|
| 最優秀賞 (大会テーマ) | <p>作品：<u>緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から</u> 応募者：藤田 若葉（ふじた わかば）さん （北上市立江釣子中学校 2 年（選定時）） 選定理由：宮沢賢治が理想郷として表した「イーハトーブ」が自然と人とが調和する岩手県らしさを象徴。「緑をつなごう」、「輝く」が森の継承、震災復興を表し、開催理念も見事に表現されている。</p> |
| 優秀賞 | <p>作品：木を植える。未来を育てる。 応募者：上田 愛（うえだ めぐみ）さん（香川県） 選定理由：一本の木が大きく育ち、皆の未来が豊かに広がる様子をシンプルに表現。震災で消失した高田松原再生に象徴される三陸復興が連想できる。また、句点を用いた表現は斬新且つ力強い。</p> |
| | <p>作品：森から生まれる 青い空と青い海 応募者：森井 朱美（もりい あけみ）様（奈良県） 選定理由：森、空、海との密接な関わり、また、その要が森であることが表現され、植樹の重要さが伝わる作品。岩手県の豊かな自然環境、沿岸地域での開催を上手く表現している。</p> |
| | <p>作品：ふるさとの 未来に届ける みどりの恵み 応募者：平山 智子（ひらやま ともこ）（宮城県） 選定理由：この植樹祭が契機となり開催地高田松原が緑に彩られ未来に届けられる様子が表現され、岩手県での開催と開催理念が上手く表現されている。</p> |